

【期間】 2018 年 3 月 21 日～27 日

【場所】 MIT Sports Sloan Analytics Conference @ Boston Exhibition Centre

【活動内容】

1) 2/22 MIT Sports Sloan Analytics Conference Hackathon 見学・会食

今年の MIT Sports Sloan Analytics Conference (以下 SSAC) のハッカソンでは NBA における、選手とボールのトラッキングデータが参加者に配られた。参加者は 5 時間に渡ってデータの分析を行い、そのあとに分析結果のプレゼンを行う。ハッカソンの選考の責任者に質問したところ、通過には CV にデータ解析の経験を示す Github へのリンクや目を引く図・表が必要であるという。学生部門では大学 4 年の Jason Feldman 氏、一般部門では Oracle に勤める Zach Knowlton 氏が優勝した。

夕食は日本からの参加者数名との会食に参加。スポーツ解析を仕事にしている方（研究者・ビジネス関係）はトップレベルで活躍している人たちで、日本におけるスポーツ解析のランドスケープを把握することができた。

2) 2/23, 2/24 MIT Sports Sloan Conference

SSAC の参加人数は増加傾向であり、3500 人が出席している。1 日目の日程表(右図)からは 7 レーン制であることと多くのスポンサー講演が目立つ。以下、内容について報告する。

パネルディスカッション: 日本と違い、MLS のアナリストはドリームジョブに就いたスターである。そんな方が AC Milan のオーナーや Simon-Fraser 大学教授と対等にスポーツ解析の議論を繰り広げていた。

研究: FC Barcelona データチームを含む研究者らがスポーツの新しいデータ解析手法や結果を紹介した。e-sports において解析が可能になるよう、プラットフォームを作成した Philip Maymin 氏がベスト・リサーチに選ばれ、時代の流れを感じた。

ビジネス: 2020 年に向け盛り上がる日本のスポーツビジネスのインスピレーションになるスタートアップが多く出展していました。（下に左からパネル、研究、ビジネスに関する写真を記載）



それぞれの詳細な内容はすべて SSAC のホームページに掲載されている。 <http://www.sloansportsconference.com/>

3) 2/25 MIT Museum

MIT Museum の「BIG BANG DATA」展。現代の文化、テクノロジー、社会の共存を考えさせる展示会であった。Edward Snowden 氏の取材映像と Nicholas Felton 氏の個人情報の分析結果の展示がデータの 2 面性(プライバシーとベネフィットのトレードオフ)を強調していているように感じた。

【事後活動】

日本スポーツアナリスト協会と丸の内スポーツラボが共同で運営した MIT Sloan Sports Conference 2018 報告会にて 20 分程のプレゼンを発表させていただきました。